


鳳鳴中学校3学年通信

SCRUM

2024年度

2025 (R7) 3, 3 No, 13




 中学校生活の三年間というのは、**人生の中で最も大きなターニングポイント**と言えるかもしれません。授業での学び、部活動、友達や先生からの言葉、人生を左右する進路選択など、様々な経験を通して「**心**」が飛躍的に変化を遂げたはず。これが皆さんの今後の人生を築く「**土台**」となり、新しい世界で出会う人たちと新たな経験を重ねながら更なる「**学び**」を繰り返していくのです。



このように人は生涯に渡って学習や経験を重ねながら「**個**」が変化し続けていきます。つまり、人間としての完成形はありません。ゆえに、「**主体的に学び続ける姿勢**」をいつまでも大切にする必要があります。

**いつか、どこかで出会ったときに、皆さんがどのように変化しているか、楽しみにしています。**



学びに終わりなし

■ 誇り高く自信を持って翔び立つとき ■

今回の、最後の学年通信です。3年生に向けての「メッセージ」として読んでいただければ幸いです。



中学校三年間の生活、そして  
**義務教育九年間の課程**が、いよ  
いよ終わりを迎えます。

鳳中学校での三年間で、皆さんは、どんなことを学んできましたか？



学業に力を注いだ人、部活動に情熱を傾けた人、友達との関係を楽しんだ人…、わずか三年という時間の中で抱えきれないぐらい多くのことを学んできたことでしょう。

一期一会とは

人は出会った瞬間から別れへのカウントダウンが始まります。進級、卒業、引っ越し、ケンカ別れ、死別など様々な理由やタイミングがありますが、このように多くの別れと出会いを生涯繰り返します。

これから新たな世界に旅立つ皆さんにはそこでの新たな出会いがありますが、裏を返せばいつかはその人と離れる日がやってくるということです。別れゆくその瞬間に後悔することがないように、出会った人には常に全力で向き合うべきです。これこそが「一期一会」です。

今皆さんの目の前にいる友達は、もしかするともう一生会うことがないかもしれません。卒業での別れを前にやり残したことはありませんか？友達に全力で向き合ってきましたか？「ありがとう」「ごめんね」の言葉を言い忘れていませんか？

心機一転



続きは卒業式で

さわやかな春風が躍動するこの校舎で、私たちの「中学校生活」という物語が始まった。あの日。あれから三年の月日が経ち、あの時と同じさわやかな春風が私たちの心を吹き抜ける中、私たちは大きな節目を迎えます。これまでの日々を思い起こせば、すべての瞬間が鮮やかな色彩をもつて蘇ってきます。

一年生。ぶかぶかの制服は、私たちの代から新しいデザインに変わったこともあり、誇らしくも照れくさくもありました。制服同様に、全てが初めてで新鮮な毎日。行事などで先輩方が見せてくださった姿に、憧れを抱きました。そして、それこそが自分たちが目指すべき目標だと強く感じました。

二年生。後輩たちの「先輩」と呼ぶ声に、中学生としての「自覚」を新たにしました。先輩方から引き継いだ伝統の重み。その全てが私たちを高い目標へと導く推進力となつていきました。

そして、三年生。「中学校生活最後」という言葉が、私たちに感じさせてくれたもの。それは、最高学年としての責任感。二度とは訪れないこの瞬間を大切にしたいという情熱。あつという間に流れていく時間の中、私たちは自分たちの成長を確かに感じることができました。

一年生。ぶかぶかの制服は、私たちの代から新しいデザインに変わったこともあり、誇らしくも照れくさくもありました。制服同様に、全てが初めてで新鮮な毎日。行事などで先輩方が見せてくださった姿に、憧れを抱きました。そして、それこそが自分たちが目指すべき目標だと強く感じました。

二年生。後輩たちの「先輩」と呼ぶ声に、中学生としての「自覚」を新たにしました。先輩方から引き継いだ伝統の重み。その全てが私たちを高い目標へと導く推進力となつていきました。

そして、三年生。「中学校生活最後」という言葉が、私たちに感ぜさせてくれたもの。それは、最高学年としての責任感。二度とは訪れないこの瞬間を大切にしたいという情熱。あつという間に流れていく時間の中、私たちは自分たちの成長を確かに感じることができました。

**保護者**の皆様へ 入学からはや三年が経とうとしています。鳳中学校の教育にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。本校教職員がお子様を支援していくにあたり、将来 幸せな人生をおくってもらうための土台として、「良いことは良い・悪いことは悪い」と伝えてきたつもりです。また、「独り立ちできるように・他と協力して生きていけるように」教えてきたつもりです。保護者の皆様の思いに対して至らぬ点も 多々あったかと思いますが、温かく見守っていただき 感謝の念に堪えません。いよいよ卒業式を迎えます。お子様の 立派に 成長した 晴れ姿をしっかりと目に焼き付けていただければと思います。めいっばい 祝福してあげてください。三年間、本当にありがとうございました。

答 辞

